

第4回滝川市立地適正化計画策定委員会の開催結果について（要旨）

会議次第

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議事
 - (1) 第3回滝川市立地適正化計画策定委員会開催以降の経過等について
 - (2) 地域懇談会及びパブリックコメントの結果について
 - (3) 滝川市立地適正化計画（素案）の修正箇所について
4. その他
5. 閉会

策定委員会開催日・出席者数

令和5年2月1日（水） 13:30～14:30

参加者数 14名（委員7名、事務局等7名）



主なご意見

【計画策定全体を通してのご意見】

- 学校や子育ての施設も含めて、今後はっきりどうなるか分からないから、まちの方に住んでいるという方がいる。今後どうなるか早く分かることが大事だと思うので、こういった計画はできるだけ早く策定・公表し、安心して住める状況をつくるべき。
- 公共施設を含めて、少しずつ動きが出てきたと思う。
地域にとって良い方向に変わってほしいので、計画が絵に描いた餅にならないようにしてほしい。
- 公営住宅の空き室が多くなってきているので、今後の方向性・あり方というのは地域としても考えていく必要がある。
- 現在、バス利用者は新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでおり、利用者数は戻ってきていない状況。
さらに運転手不足となっており、地域として公共交通を本当に考えていかないとならないと思うが、この計画にそういった考えが示されていると思う。
- 国の施策に縛られず、北海道や地域に本当に必要なのかを考え、これからの計画をつくと良いと思う。
- 今回の立地適正化計画は何をコンセプトにしたのかを計画書に記載し、これまでの計画との違いが見えると良いと思う。
- 滝川市として「こういったところに力を入れいくんだ」、「こういうまちを目指していくんだ」ということを示す場面で、この計画を使ってほしい。